

和光市環境づくり市民会議 第132回定例会議事要録

日 時 平成29年3月21日(火) 15:00~16:45

場 所 市役所603会議室

出席者 9名 峯岸正雄 高橋勝緒 高橋絹世 渡辺康三 芝勝治 新井昭夫
東亮太 友國洋 松田廣行

傍聴者 なし

事務局 和光市環境課 大野課長、工藤課長補佐、工藤主査、金岡

概 要

議題

(1) 環境づくり市民会議次期役員体制について

会長に峯岸正雄氏の再任、副会長に芝勝治氏が推薦され、決定した。→2年間皆さんのサポートをよろしくお願いしたい。

(2) 平成29年度環境づくり市民会議年間スケジュールについて

今年度は、5月に緑化まつりへの参加を会議の一環として入れている。緑化まつりでは、「和光市自然環境マップ」を使った説明会のような啓発事業を想定しており、まつりに先立ち、4月にどのようなイベントにするかなどの協議を行いたい。また、6、7月については、環境課職員の実地研修の場という意味合いも込めて、フィールドワークを実施したい。以降は例年同様である。→了承された。

(3) その他

○ 樹林公園の樹木の立ち枯れについて

樹林公園に行ったら、あまりにも木が切られていて悲しかった。何とかならないのか。→今年度から指定管理者が樹林公園パートナーズに代わった。現在は枯れ木の伐採も進められ、今後改善されていくと期待している。猛暑かキノコか地質の影響か、よく分からないが、異常な枯れ方なので、県で原因を調べてほしいと申し入れている。フィールドワークとして視察をするのもいいと思う。

○ 会報「環」について

会報は通常年度初めに出しているのですが、次回は6月くらいに発行したらどうか。→市の人事や会の役員も変わるので良いのではないかと。→600字ほどの原稿を5月末提出くらいで予定しておいていただきたい。→4月に改めて提示させていただく。

○ 環境づくり市民会議会員募集について

当会は、和光市環境基本計画の策定委員会が前身で、計画策定時に環境課からの呼びかけや広報等での公募により様々な立場のメンバーが集まった。環境とはどういうものかという基礎的なことから始まり、自然環境や都市環境など4部会程度に分かれて熱心な話し合いが行われるなどした。そしてその討議の集大成として、和光市独自の環境基

本計画が策定された。その基本計画を維持していくために、環境づくり市民会議が発足した。それから何度か改訂を重ねてきたが、当初から変わっていないのは、和光市の特徴である湧水を始めとした自然環境を大切にしようということである。

最近、会のメンバーも固定化されている部分もあるので、環境のイベントなどに参加している、少しなりとも環境に興味のある市民に対し、呼びかけを行っても良いかもしれない。新たな委員を迎え入れ、広く議論をしたいので、会員募集について工夫してみしてほしい。→それぞれ活躍のフィールドがある皆さんが集まっているのがこの会議の特徴である。今後は、近隣の大学に呼びかけ、夏休みの期間だけ参加いただくなど、オブザーバーのようなやり方も検討したい。広く市民に環境の大切さを発信できるような会議にしたいと考えている。→期間限定でいろんな人を集めるのは良いと思う。交流ができるといい。場合によってはこちらが出向いてもいいと思う。→当会は、自然環境分野のメンバーが多い。環境基本計画は、自然環境以外にもたばこのポイ捨てなど多岐に渡っている。普段活動していない分野だとなかなか実感がわからないので、いろんな分野の人がいたほうが視点が変わっていいと思う。違った角度から意見交換もできるので、ぜひ新メンバーに入ってきてほしい。

○ 和光市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）改訂版について

地球温暖化対策委員会や環境審議会での審議を経て、改訂版の策定も仕上げの段階である。本計画の大きな特徴としては、計画の見直しに合わせて、市内小学生から2050年の和光市を想像した絵画を募集する「快適環境都市わこう絵画コンクール」を開催し、応募された子どもたちの作品を計画に掲載したことである。

また、内容としては、国内外、県などの最新の動向を反映し、従来の緩和策のみならず、適応策についても盛り込んだことである。今後、用語集や経緯などを盛り込んだ資料編も追加し、3月中に策定、4月に公表を予定している。→子どもたちの絵がとても素敵である。未来の和光というと、技術的な発展のイメージかと思ったが、緑を残したいという気持ちが多いということが分かる。都市の発展と緑は密接に関わっていて、決して切り離せないものだと思う。2050年にもたくさんの緑地が残っているといい。

地球温暖化と異常気象をどの程度結び付けて考えているのか。→因果関係は明瞭ではないが、全く関係がないともいえないので、まずは取り組みを進めていく。今回の改訂版では、適応策の方向性の中で異常気象との関連について記載している。環境課の業務は地道な啓発が中心なので、この計画を通じていろいろな場面で必要な対応を呼びかけていく。環境だけの切り口では限界があるので、防災分野や健康分野など切り口を増やし、一人でも多く取り込めるように、環境課が中心となって連携を取り進めていく。

○ 人事異動の内示について

大野環境課長が子どもあんしん部保育サポート課へ異動し、後任には現生涯学習課長が就任する。

○ 次回の会議について

今回は4月18日（火）15時から503会議室にて開催する。